

COVID-19 時代の人権

コミュニティ主導の対策で成果を上げてきた HIV の流行からの教訓

Seven takeaways:

1 コミュニティを中心に

流行の影響を受けているコミュニティ（地域住民、子供の保護者、従業員など）が、すべての対策に最初から参加できるようにしましょう。信頼関係が生まれることで、対策の効果が上がり、持続可能になります。確かな情報を共有することで、間接的もしくは意図せざる被害を避けることができます。



2 スティグマや差別をなくそう

国籍や人種、社会的な関係、職業（とくに保健医療従事者）などの理由によるものを含め、すべてのかたちのスティグマや差別をなくすために闘いましょう。社会的に排除されやすい人々に向けられる差別やスティグマは必要なケアを受けることを妨げます。



3 弱い立場の人たちを支えよう

社会的に弱い立場に置かれているために医療サービスを利用できずにいる人たちが、無料または低額で検査や治療、ケアを受けられるようにしましょう。



4 行動を妨げる障壁を取り除こう

個人やコミュニティが自ら健康を守ろうとすることを妨げる障壁は取り除く必要があります：たとえば、失業の不安、医療費の負担、フェイクニュースや誤情報、衛生状態を保つインフラ（マスク、アルコールなど）の欠如などです。



5 刑事罰は無用です

公衆衛生を守るための規制は期間を限定し、バランスが取れ、必要性が高く、エビデンスに基づき、法で検証可能なものでなければなりません。弱い立場のグループには必要に応じて特例を設け、規制の影響が過大な状態の改善をはかる必要もあります。全面的な禁止令が有効で必要なことは、実はありません。規制に違反した人を犯罪者として扱うことは避けましょう。



6 いまこそ国際協力を

各国は情報や知識、資金、専門的技術を共有し、どの国も取り残されることのないよう助け合う必要があります。



7 やさしくなろう

医療従事者を支援し、守りましょう。お互いにやさしくなることが大切です。信頼を構築し、制裁でなく連帯を広げていきましょう。

